

会社名：株式会社　ホリケン		承認	承認	承認	承認	承認	承認
第162回ホリケン合同勉強会兼安全衛生協議会		議事録					
実施年月日	2025年12月5日	議事録作成者					
責任者	堀 峰也	出席者		別紙参照			
【フルハーネスについて】		●管理運営時の確認					
●フルハーネスとは・・・		建設工事現場には、墜落時保護用を機能を有さない保護帽は持ち込まない・持ち込ませない。					
①肩や腿、胸などの複数のベルトで構成され身体が安全帯から抜け出すことや、胸部・腹部を過大に圧迫するリスクを低減します。		不具合が認められた保護帽は、ただちに使用を中止すること。					
②フルハーネス型は、宙吊り状態でも重心位置を正常に保ち『逆さま姿勢』になることを防止します。		【年末年始の過ごし方】					
③ショックアブソーバーとは、墜落阻止時に発生する衝撃荷重を大幅に低減するものです。		●なぜ年末年始の過ごし方が大切なのか					
●墜落制止用器具		休み方も仕事のうち。休みを疎かにしないことが、良い仕事を生み出す第一歩。					
墜落制止用器具は着用者の体重及び装備品の質量の合計に耐えられるものを選定することが重要です。		●体調管理の徹底					
●墜落防止措置の原則		1、凡事徹底の心を忘れずに。					
労働安全衛生法令では、墜落による労働者の危険を防止する措置として高さ2メートル以上の箇所で作業を行う場合には、作業床を設けその作業床の端開口部には囲い、手すり、覆い等を設けて墜落防止することが原則であり、墜落制止用器具はあくまでこうした措置が困難なときの代替措置です。		2、基本的にいつもと変わらない生活リズムをキープする。					
		3、睡眠、食事に気をつけ、運動を適度に取り入れる。					
【ヘルメットについて】		自分の体を守ることは、仲間と現場を守ること。体調管理も、建築の土台づくりです。					
●保護帽（ヘルメット）には使用区分があります。		●乾燥の時期の火元注意					
①飛来・落下物用・・・飛んでくる、落ちてくる物から頭部を保護するもの。		冬は空気が乾き、火気事故が一年で最も多い季節です。特に年末年始は、暖房器具や調理器具の使用が増え、注意力が緩みやすい季節です。建築の仕事に携わる私たちは、火を扱うプロとして火を防ぐ意識もプロでありたい。					
②墜落時保護用・・・墜落による頭部への衝撃を軽減し頭部を保護するもの。		火を使う技術だけでなく、火を防ぐ意識も建築の力。安全な年末年始を一人ひとりの確認から意識していきましょう。					
※衝撃吸収ライナーが装着してあるもの。		●理想的な過ごし方のポイント					
③電気用・・・頭部感電による危険を防止するもの。		1、しっかり休む・よく眠る・・・心身の疲れをリセットすると集中力と判断力が戻ります。					
		2、家族や仲間との時間を大切に・・・普段伝えられない感謝を言葉にすることで心のエネルギーが満たされます。					
		3、新しい年の準備を軽やかに・・・ 気持ちの整理と小さな行動から新年の歩みを軽くします。働くと休むは両論。良い休み方が、よい仕事をつくります。					

参加者氏名は、個人情報につき非表示とさせていただきます。

出席者名簿			実施年月日	2025年12月5日	
			実施会社名	株式会社 ホリケン	
			責任者	堀 峰也	
			議事録作成者		
NO.	会社名	参加者名	NO.	会社名	参加者名
1			31		
2			32		
3			33		
4			34		
5			35		
6			36		
7			37		
8			38		
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					